

## 雄岡山福祉会 法人内公開保育「みてみて保育」の実施に向けて

### 《保育に関する自己評価についての話し合い》

保育の向上を目指し、法人内「みてみて保育」を行うにあたって、職員で話し合いを行い、現状から見える課題やどんな視点で見たいのかを具体的に上げていった。

日時：令和4年7月1日（金） 14:00～14:30

### 学び合いの視点や課題などについて確認したこと

#### ○すみれ組(0歳児)

- ・夏のあそびでは、衛生面も考慮しながら1歳児クラスともあそびを共有していけるように連携をとっている点を見てもらいたい。
- ・活動によって、机や棚を無理のないように動かしているが、前後の活動に繋がりを持たすための配置を工夫していきたいので、アドバイスをもらいたい。

#### ○ちゅうりっぷ組(1歳児)

- ・室内、戸外でそれぞれに好きな場所を見つけてあそんでいるが、お互いに関心をもちながらあそんでいる中で、トラブルになることもある。保育者同士で連携を取り、子どもの様子を見守りながら保育しているが、連携について気付いたことがあれば教えてほしい。魚に興味があり、製作やあそびに取り入れたりして楽しんでいる所も見たい。

#### ○ばら組(2歳児)

- ・あそびの環境については一人一人がじっくりとあそべるように工夫し、整えていっている途中である。また、密にならないように、廊下やデッキなどでもあそびの場を作っているため、その点を中心に見てもらいアドバイスをもらいたい。

#### ○きく組(3歳児)

- ・一人一人を丁寧に見守っていけるように、2グループに分かれて過ごしている。その中で集団に入りにくかったり、場面の切り替えが苦手だったりする子どもへの配慮を心がけているが、対応に悩むことが多いので、アドバイスをもらいたい。
- ・お互いのグループで活動を共有しているが、もう少し個別の様子も含めしっかりと共有していくことが課題である。

#### ○さくら組(4歳児)

- ・さくら組保育室とプレイルームを移動するため、一日の活動のリズムがスムーズに流れるよう工夫している所やプレイルームの環境も整えている途中なので、何か気づいた点があれば教えてほしい。

#### ○ひまわり組(5歳児)

- ・自分たちが植えた野菜の生長を楽しみにしており、水やりや観察と積極的にしている。厨房とも連携を取り、収穫した野菜を給食に使用してもらったり、園庭のヤマモモを収穫し、シロップ漬けやジャムづくり、染め物も一緒にすすめている。食育だけでなく、様々な活動に意欲的に参加している子どもたちの様子を見てほしい。
- ・自分の考えたことを人に伝えるのが恥ずかしくてできない子どもも多いので、活動や1日の終わりのサークルタイムを通して、感じた事などをその都度話し合う機会を持っているが、クラス全体を見て気づいたことがあればアドバイスが欲しい。

## 法人内 みてみて保育の実施

**日時:** 令和4年7月15日(金) 9:00~15:00

**場所:** 山のまち

**目的:** ○法人理念を基本に、保育の質の向上につながる学びの機会とする。  
○第三者から見た自分たちの保育についてアドバイスをいただき、保育の振り返りをして質の向上に役立て、日々の保育実践に活かす。

**参加者:** 総毛 吉田

おっこう山	宮武先生(4歳児)	車1台
北町	小池先生(4歳児) 丸山先生(1歳児)	車1台

### 本日のスケジュール

- 9:00~ 集合 オリエンテーション(事務所)
- 9:30~ 各クラスを自由に見学 \*各自水分補給を事務所で行ってください
- 12:00~ 順次給食をとる 休憩
- 13:15~ カンファレンス「みてみて保育の気づきと学びを語ろう」  
乳児(30分間)
- 13:45~ 幼児(45分間)
- 14:30~ まとめ (ふりかえりシート記入)
- 15:00 終了

### まとめ

#### ○環境

- ・アットホームな雰囲気よかった。職員一人一人が暖かく子どもを見守っていることが伝わってきた。
- ・玩具が子どもたちの成長にあっていた。手作り玩具では、素材が全く同じではなく、音や重さの違いを五感を使って味わえる工夫がとても面白く感じた。
- ・視覚教材が多く、子どもたちも分かりやすいだろうなと感じた。
- ・砂場の砂が少なかった→今年の秋に砂を増やした。子どもたちも喜んであそんでいる。
- ・保育室だけでなく、廊下にマットなどの遊具を設置することで、どこでもいつでも気軽にあそべる空間づくりをしている。

#### ○乳児クラス

- ・食事の環境をあと少し広くできたらいいなと感じた。  
→クラス担任も食事の環境を広く取りたいと考えていたところなので、アドバイスをいただき、すぐに環境を整えた。
- ・食事の介助が子どもの様子を見て、対応していた。
- ・一人一人がじっくりとあそべるように保育室の使い方、全体であそぶものばかりにならないように工夫する。
- ・0、1歳児クラスが繋がったフロアだが、慌ただしさなど感じず、日頃から保育者同士が連携をとれていると感じた。

#### ○幼児クラス

- ・一人一人に合わせて丁寧に関わっていたのがよかった。
- ・きっかけ作りをしたら、保育者が少し離れて見守ることも大切かもしれない。